

# 中村アンが語る、「ケイリンとの出会いに生まれた新たな世界の楽しさ」

ケイリンにトライすれば、日常にきっと新たな風が吹くと思います。  
そして近くで観たら、また興味が湧くことがたくさんあると思います。  
一流アスリートが躍動する空間、人それぞれの楽しみと出会えるはずです。



その美貌を活かしファッション誌でモデルとして活躍、またテレビのバラエティ番組で見ない日はないほどの人気タレントでもある中村アン。昨年はケイリンのCMにも登場、そしてケイリングランプリやGIレースでは実際に競輪場に足を運び、プレゼンターとして優勝選手の表彰式に花を添えた。日本選手権競輪を控え、彼女が感じたケイリンそのものを聞いてみた。

◆昨年はケイリンのCM、そしてプレゼンターとして、ケイリンと接する機会が多くなりましたが、実際にこのような仕事をさせてみて、どんな感想をお持ちですか。

中村アン テレビでは何度か見たことがありますが、CMがきっかけになり初めて競輪場に行きました。実際に行ってみたら、想像とは全然違って、すごい迫力がありました。特に音にビックリしました。一瞬で通り過ぎてしまうのですが、人の力で走っているのにマシーンのように感じましたね。また、見ているファンの人たちが熱くて、野次や声援もスゴかった！カルチャーショックというか、新鮮な驚きを体験しました。

◆ライブで一流の選手たちを間近で見た時はどんな気分でしたか。

中村アン 走っているのを見ている時は分からなかったけど、近くで見ると皆さん迫力があって、アスリート感をまざまざと見せつけられました。あの太ももなので、歩き方がちょっとガニマタで、真剣な表情で歩いてくる姿は遅くして威圧感もありました。身体的なこと以上に、レース前のアップをしているところを通ったりすると、張り詰めた空気の緊張感がひしひしと伝わってきました。想像を絶する厳しさがあると、改めてプロフェッショナルの世界を垣間見ました。

◆競輪選手も随分と覚えたのではないですか、特に応援している選手はいますか。

中村アン 応援は自然と同世代で活躍されている選手になっちゃいます！特に深谷知広選手には注目しています。昨年は怪我をしちゃって、復帰したグランプリは本調子じゃなかったようだし、この日本選手権競輪でも頑張っただけいいと思います。色々な選手の情報はいつも現場で、中野浩一さんやヤマコウ(山口幸二)さ

んにレクチャーして頂いているのですが、ユーモアがあって、おしゃべりも上手で面白いですね。でもお二方とも競輪界のレジェンド！リアルタイムで観ていないのは申し訳ないのですが、やはり日本一になった人は引退されてもパワーがあるし、それに独特のオーラがあります。あと今でもカラダ、太腿がすごい(笑)。

◆タレントさんの中にもオーラがある人はたくさんいると思いますが、何か共通点を感じることはありますか。

中村アン ケイリンの世界も、タレントの世界も、同じフィールドにすごい年齢層の人がたくさんいて、みんなどんな気持ちでやっているのだろうとか考えたりします。プロとして常に意識を高く持っていないといけないとは思いますが、神山雄一郎選手は40歳を過ぎてでもケイリンの頂点の舞台に立っていますが、どちらの世界でも長くトップにいる人のオーラ、雰囲気とか佇まいとか、本当に特別なものがあります。自然と周囲に何かを伝えるパワーがあると思います。そういう方たちと仕事をさせて頂くと刺激になります。プレゼンターとして優勝した選手の隣に立つのですが、レー



ス後でもしっかりと緊張感を持っていて空気がピシッとしていました。気持ち的には相当ハイなはずなのに、プロとして別の意識がちゃんと働いているのでしょうか。

◆ガールズケイリンも話題になっているのですが、女子選手にお会いになりましたか。

中村アン もちろん、お会いしました。ビッグレースの男性ばかりがピックアップされますけど、女子も結構パワフル！でもその中に女性らしい微笑みがあり、爽やかな印象を受けました。カラフルな車体やユニフォームも目を惹きますね。私もチアリーディングをやっていますが、全体のカラフルな感じと実はガッツがある部分、どこか似ているイメージです。ケイリンの世界に飛び込むのは大変だと思うけど、お会いして思ったのはみんな瞳がきらきらしていて、やり始めたら楽しいんだというのが伝わってきました。もっと女性選手が増えて、レースも増えてほしいですね。そうしたら若い女子のケイリンファンも、きっと増えてくると思います。

◆競輪選手はレースの当日の集中力など際立っていますが、チアリーディングでは気持ちの高め方など心がけていたことはありましたか。

中村アン チアリーディングはフィギュアスケートなどと一緒にノーマスをめざしてやる競技です。メンバーの心がバラバラになると、普段は上げられるリフトも上がりません。私たちは“練習は本番のように、本番は練習のように”と心がけていました。着ている服で見え方が変わったりするので、本番で着るユニフォームを着て、本番に近い状態でシミュレーションしていました。やはり練習で流して、本番だからと気合いを入れても結果は出ません。気持ちの持って行き方です。その辺りは競輪選手と通ずるものがあるかも知れません。

◆競輪場に訪れた時は車券を買ってみたいと思っていますか。

中村アン 買っています！アスリートを見るスポーツ的な側面も魅力ですが、車券を買って応援の方が素直にもっと楽しめると思います。100円だけ買って当たったりすると500円にしておけば良かったなんて、欲が出ちゃったりするんですよね。ケイリンの予想は難しい部分もありますが、人と人の結束とか、地元選

手たちの気合いとか、想像をめぐらせるのが面白いし、自分だったらどうするか置き換えて考えても楽しいですよ。やっぱり考えて買うことに意味があるし、それが面白い。そうするとレースの駆け引きが少しずつ分かる気がします。“まだ動かないの”、“えっそこからスタート”とか、一瞬、一瞬がわくわくして来ます。でも最初は誕生日の数字や、直感で思い浮かんだ数字や色で買ってほしいし、まずは一度トライしてみてほしいですね。



かけてくれたこともありました。今まではありえなかったコミュニケーションも、とても勉強になったり、ケイリンを知ることで違った楽しい時間を過ごせることがわかりました。私にとって新しい世界に触れられた、携われたのは、とてもいい経験になっています。選手の方たちから学んだことは、その日に懸ける瞬間、目標の舞台、そこに持って行くまでの道程の大切さでしょうか。私もいつも準備をしておく、いつどんな時にいい仕事を頂いても対応できるようにとか。その日のために逆算するのではなく、日頃から意識を持つことが大事。ケイリンを通して、より一層と感じています。すごい頑張っても失敗することはあるけど、妥協せず日々積み上げて行かないとダメですね。ケイリンとの出会いは、私にとって本当のプロ意識を目覚めさせてくれました。

◆最後にケイリンをこれから始めてみようという人へメッセージを。

中村アン 何事も最初の一步は勇気がいるけど、気軽に“明日は休みだから行ってみよう”みたいな感覚で、その一步を踏み出して欲しいです。それで日常に新たな風が吹くと思うし、きっと近くで観たら、また興味が湧くことがたくさんあると思います。とにかく一度、ケイリンを体験して、何かを感じてくれればと思います。



中村アン プロフィール  
1987年9月17日生まれ 東京都出身  
血液型:AB型 特技:チアリーディング、スポーツ全般、書道  
公式ブログ「ANNE」 公式twitter @AnneNakamura

## ■3/22(日) 東京オーヴァル京王閣に中村アン来場!



2014年度 KEIRIN イメージキャラクター 中村アン